

会議録

1 附属機関等の会議の名称

令和5年度第2回丹波篠山市在宅医療・介護連携推進協議会

2 開催日時

令和6年3月8日（金）13時30分から15時00分

3 開催場所

丹波篠山市立丹波篠山市民センター 1階 多目的ルーム1

4 会議に出席した者の氏名（敬称略・順不同）

（1）委員 有井 融（会長）、岩崎 弘子（副会長）、片山 覚、小平 博、有本 貴昌、中西 康典、赤井 文美代、岩田 京子、青野 まり、佐藤 博伸、森田 昌裕、岡前 暁生、中村 啓、上村 有紀、山下 好子

（2）執行機関 長寿福祉課 松本 ゆかり

5 傍聴人の数

0人

6 議題及び会議の公開・非公開の別

公開

7 会議資料の名称

- ・令和5年度第2回丹波篠山市在宅医療・介護連携推進協議会次第
- ・令和5年度 丹波篠山市在宅医療・介護連携推進事業について【資料1】
- ・ヘルスケアパスポートの実証実施の状況について【資料2】
- ・令和6年度丹波篠山市在宅医療・介護連携推進事業計画（案）について【資料3】

8 会議の概要

（1）開会

（2）あいさつ

会長あいさつ

(3) 報告事項

1) 令和5年度丹波篠山市在宅医療・介護連携推進事業について【資料1】

(事務局) 資料に基づき説明

(会長) ただいまの説明で何か質問や意見はありませんか。

(委員) 質疑等、特になし

2) ヘルスケアパスポートの実証実施の状況について【資料2】

(会長) それでは、A委員より説明をお願いします。

(A委員) 資料に基づき説明

令和5年9月頃から市内のA医療機関とその法人内の介護サービス事業所を中心に、実証実施を開始する予定で準備を進めていますが、システム開発等の都合で、半年程度遅れています。システム開発等についても目途がついてきたので、来月位には、実証実施を開始したいと考えています。

これまでから説明させていただいていますが、ヘルスケアパスポートの活用の際は、医療機関同士の連携のためだけでなく、患者さん本人の健康等の記録にもなります。医療介護連携では、「篠山つながり手帳」のオンライン化を目指しており、これまでに行ってきた「篠山つながり手帳」の運用調査の結果にあるように、「本人が持ち歩かないと情報がつながらない」といったようなデメリットをカバーするものとなります。しかし、ヘルスケアパスポートはメリットばかりではなく、患者・家族が同意しないと情報共有できないため、スマホを持たない方への同意の方法や情報共有先のオプトインをどのようにするか等の検討課題もあります。今後の実証実施の中で検討していきたいと考えています。

今回は、「篠山つながり手帳」の機能だけでなく、アドバンスケアプランニング（以下「ACP」という。）の機能を盛り込むことを提案させていただきます。ACPは、「その人らしい生き方」を周りの人たちが共有しておくことが大切なことで、令和6年診療報酬改定にも取り上げられています。ACPのタイミングは、根治の見込みが低いと考えられた時に行うだけのものではなく、自分の希望を話せる、認知機能低下が進行するまでの元気な時から、自分らしい生き方を誰かと対話していくことが重要で、早い時期からACPを進めていくことが大切です。また、その思いは変化するものなので、医療や介護の専門職が、本人の思いを聞き取るタイミングを図り、関係機関や本人・家族と共有していくことが必要です。繰り返しになりますが、ACPは対話することが大切であり、医療介護の関係者は、本人の思いのかけらを集め共有していきます。このことから、今回のヘルスケアパスポートには、今回配布しています、神戸大学が作成されているACPについての内容を盛り込んでいきたいと考えています。

(会長) 何か、ご意見やご質問はありませんか。

- (事務局) ヘルスケアパスポートの中に、現在、医療介護の連携ツールとして活用している「篠山つながり手帳」の機能と ACP の機能を盛り込むことは、非常に良いことだと思います。ACP について、現在、市民に周知啓発している「わたしの大事をつなぐノート (エンディングノート)」の内容を盛り込むことはできませんか。介護の現場では、終末期の医療のことだけでなく、その方が、今まで何を大切にされてきたのか、ここから最期の日までをどう過ごしたいと思っておられるのかを知って、そのことを支援者の皆で共有し大切にしたいと思っています。
- (A 委員) 「わたしの大事をつなぐノート」にある、これまでの暮らしの中で本人が大切にしてきたこと等の項目は大切だと思っています。しかし、全て盛り込むとなるとボリュームが大きくなり、記入していただくことも大変となる可能性もあるので、内容や方法については、システム会社と検討していきます。
- (会 長) 他に何か、ご意見やご質問はありませんか。
- (委 員) 質疑等、特になし
- (会 長) 今後とも実証実施に向けてよろしくお願いします。

(4) 協議事項

令和 6 年度丹波篠山市在宅医療・介護連携推進事業 (案) について【資料 3】

- (事務局) 資料に基づき説明
- (会 長) 何か、ご意見やご質問はありませんか。
- (委 員) 質疑等、特になし
- (会 長) 私も多職種連携会議「この指と～まれ」に参加していますが、参加者が少し固定しているように思います。できるだけ多職種の方が参加できるように、事務局からの周知をお願いします。また、委員の皆様からも、各所属の関係者の皆様に参加の呼びかけをお願いします。
- (会 長) ありがとうございます。他になければ、検討事項については終了とします。次回は、ヘルスケアパスポートの実証事業の経過等の報告や協議がありますので、令和 6 年 7 月、8 月頃に、第 1 回丹波篠山市在宅医療・介護連携推進協議会を開催させていただきます。

(5) 閉会

- (会 長) これをもちまして、令和 5 年度第 2 回丹波篠山市在宅医療・介護連携推進協議会を閉会します。お疲れ様でした。次回は、ヘルスケアパスポートの実証実施の現状を報告もありますので、7 月か 8 月頃に開催します。